

「財務諸表から企業の実態を知ろう」

～財務諸表を分析して企業の実態を分かりやすく伝えよう～

1. 探究活動の確認点と注意事項

①分析の方向性

教科書P216ページを参考に外部・内部どちらの視点で分析を行うか考えましょう。

②財務諸表分析の方法

教科書P216ページに分析の方法があるので、確認しましょう。比較は下記の2つの方法があります。選定企業の期間比較と同業他社比較を行って分析してみましょう。

期間比較	企業1社を選び、前期以前と当期の比率を比較する。
同業他社比較	同じ業種の企業を2社選び、2社の比率を比較する。

③ワークシートをまとめる際の参考検索サイトや文献等

業種検索 「TDB 企業サーチ」

企業情報 「四季報 オンライン」 ※無料版は見られないところもあり

企業価値検索 「U1let」 ※財務諸表は連結と個別とに注意してください。

新聞や図書等 普通棟と特別等の渡り廊下(2階)に「NIE コーナー(新聞コーナー)」があります。

④有価証券報告書の入手方法

財務諸表を入手する方法は教科書P264を参考にしてください。企業のホームページにも掲載されています。

有価証券報告書は、「EDINET」で入手できます。インターネットで「EDINET」を検索しましょう。[提出者/発行者/ファンド]に企業名を入力して検索します。

EDINET Electronic Disclosure for Investors' Network

文字の大きさ 標準 大 English

トップページ 書類詳細検索 書類全文検索 公告一覧 EDINETタクソノミ及びコードリストダウンロード

トップメニュー

お知らせ一覧
よくある質問
便利な使い方
(2023年09月21日更新)
利用環境
操作ガイド等

システムメンテナンス情報
現在、サービス一時停止の予定はありません。

金融商品取引法等に基づく有価証券報告書等の提出期限の延長が承認されている

書類簡易検索

提出者/発行者/ファンド/証券コード 検索

ファンドを含む

書類種別

有価証券報告書 / 半期報告書 / 臨時報告書
 大量保有報告書

(各訂正報告書を含みます。)

提出期間

- ① [提出者/発行者/ファンド]に企業名を入力
- ② 書類種別は「有価証券報告書」に✓のまま
- ③ 提出期間も「過去1年」のままで大丈夫
※ここを「全期間」にすると過去の有価証券報告書も見ることができる。

提出日時	提出書類	コード	提出者/ファンド	発行/対象/子会社	PDF	XBRL	CSV	備考
2023/07/27 09:59	四半期報告書-第57期 第1四半期(2023/03/16 -2023/06/15)	E03356	株式会社					
2023/06/15 09:59	有価証券報告書-第56 期(2022/03/16-2023/0 3/15)	E03356	株式会社					
2023/01/27 10:01	四半期報告書-第56期 第3四半期(2022/09/16 -2022/12/15)	E03356	株式会社					

- ・検索結果の中の最新の有価証券報告書を使用する。
- ・検索の際に「全期間」を選択すると過去の有価証券報告書が出てくる。
- ※ 四半期ではない

提出本文書 監査報告書 代替書面・添付文書

提出本文書

目次 検索

表紙

本文

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

2 沿革

3 事業の内容

4 関係会社の状況

5 従業員の状況

第2 事業の状況

1 経営方針、経営環境及び対処すべき課題等

2 事業等のリスク

3 経営者による財政状態、経営

(2) 提出会社の経営指標等

目次	第52期	第53期	第54期	第55期	第56期
決算年月	2019年3月	2020年3月	2021年3月	2022年3月	2023年3月
売上高 (百万円)					
経常利益 (百万円)					
当期純利益 (百万円)					
資本金 (百万円)					
発行済株式総数 (株)					
純資産額 (百万円)					
総資産額 (百万円)					
1株当たり純資産額 (円)					
1株当たり配当額 (円)					
(内1株当たり中間配当 (円)					

- ・「企業情報」を押すと、右側に指標が表示される。下にスクロールして、その中の「提出会社の経営指標等」を使う。
- ・いくつかの指標等はここに過去5年分載っている。
- ※一番上にある連結経営指標と間違わないように注意する。

提出本文書 監査報告書 代替書面・添付文書

提出本文書

目次 検索

関連当事者情報

⑤ 連結附属明細表

社債明細表

借入金等明細表

資産除去債務明細表

(6) その他

2 財務諸表等

(1) 財務諸表

① 貸借対照表

② 損益計算書

③ 株主資本等変動計算書

注記事項

④ 附属明細表

有形固定資産等明細表

引当金明細表

(2) 主な資産及び負債の内

2 【財務諸表等】

(1) 【財務諸表】

① 【貸借対照表】

(単位:百万円)

	前事業年度 (2022年3月15日)	当事業年度 (2023年3月15日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金		
売掛金		
商品		
貯蔵品		
前払費用		
未収入金		
その他		
流動資産合計		
固定資産		
有形固定資産		
建物		
構築物		
機械及び装置		
車両運搬具		
無形固定資産		
固定資産合計		
資産合計		

- ・左側の「財務諸表等」を押すと、右側に財務諸表が表示される。下にスクロールすると、貸借対照表、損益計算書を見ることができる。
- ※上の方にある連結財務諸表等と間違わないように注意する。

2. 分析・考察の際の注意事項

- ・教科書には一般的に望ましいとされる数値が示してありましたが、全ての業種に当てはまるものではありません。業種によって望ましい数値は違ってきます。自分たちが選んだ企業の業種ではどうなのか、調べてみましょう。
- ・項目全体の数字だけではなく、業種によってさまざまな勘定科目が存在します。また、この勘定科目は業種によって金額が大きいなどの特徴がありますので、財務諸表で気になったことを調べるのも面白いと思います。
- ・分析の比率は、教科書にあるものだけではありません。有価証券報告書には知らない指標もあります。教科書に載っていない指標を活用しても構いません。
- ・分析・考察する際には、分担をしてください。安全性の分析担当、収益性の分析担当、成長性分析担当、ワークシートへの入力担当など分担して効率よく進めましょう。

3. まとめ方に関する注意事項

- ・企業の経営方針や経営戦略、新商品の開発・発売など、企業の動向や経済の動向にも触れて分析を行うとより深みが出てよいでしょう。
- ・スライドのまとめ方の基本は下記に示した通りです。
- ・発表時間は5分以内とします。スライドの枚数に制限はありません。
- ・スライドのアニメーション等は評価の対象ではありません。デザインやアニメーションの作成に力を注ぎ過ぎずに、内容を充実させてください。
- ・まとめる際、自分で考えた意見や数値だけをまとめた資料では、客観性や根拠に乏しく説得力に欠けます。そこで、参考文献（書籍やWEBサイトなどの外部のデータ）を引用することで、意見に客観性が加わり、資料自体の信頼度を上げることができます。参考文献を引用した際は、下記のように引用元を記載してください。

<引用の参考サイト>

「PPTLAB」https://ppt-lab.presentationdesign.jp/cat_presentation/1595/

「U-note」<https://u-note.me/note/47488449>

- ・まとめる際は、グループ内で分担をしてください。PowerPoint作成、発表原稿の作成、調べる係等、分担して効率よく進めましょう。

【スライドのまとめ方（参考）】

【企業名】〇〇〇〇〇〇株式会社

Aグループ

氏名 〇〇〇〇 〇〇〇〇
〇〇〇〇 〇〇〇〇

1

企業選定の理由

- 〇〇だと思ったから
- 〇〇〇であるので調べたいと思ったからである。
- 〇

2

企業の概要

- 主力商品は……
- 業界でのシェア率は……
- SDGsの取り組みは……
- 最近、こんなニュースがありました……。

3

安全性の分析

- 安全性の分析では……
- 〇〇比率では～～ということがあって～の金額がさがったため、〇〇比率が減少した。

4

収益性の分析

- 収益性の分析では……
- 新商品の販売があり……

5

成長性の分析

- 成長性の分析では……
- 市場の動向が……

6

まとめ

- 今後、経済が～なので、～～に成長していくではないか……
- 今後この企業はこのような課題を～していくと良いのではないか……。
- アメリカが～～という状況であるため、今後～になっていくのではないだろうか。

7